

綱吉の政治と元禄文化

今日の問い

綱吉の時代、政治と文化はどのように変わったろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 綱吉はどのような政治を行ったか。

朱子学・生類憐みの令

5代将軍の¹ 徳川綱吉 は、上下の秩序を重んじる² 朱子学 を学ぶことをすすめ、生き物の殺生を禁じる³ 生類憐みの令 を出した。財政が苦しくなると、貨幣の質を落として発行量をふやしたが、物価が上がった。綱吉の死後、⁴ 新井白石 は貨幣の質をもとにもどし、長崎貿易を制限した。

2 元禄文化にはどのような特色があったか。

上方の町人が担い手

上方の町人を担い手とする⁵ 元禄文化 が栄えた。⁶ 井原西鶴 は町人の生活をえがく浮世草子を書き、⁷ 近松門左衛門 は人形浄瑠璃の脚本を書いた。⁸ 松尾芭蕉 は俳諧を芸術に高め、「奥の細道」を書いた。⁹ 菱川師宣 は町人の風俗をえがく浮世絵を始めた。

年表 — この単元のできごと

1680

徳川綱吉が5代将軍となる

1685

生類憐みの令が出され始める

1709

新井白石が政治を改め始める

まとめ

今日の問いに答えよう。「朱子学」「元禄文化」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)徳川綱吉は朱子学を重んじ、武力ではなく学問や礼儀で世の中を治める政治を進めた。この時代、上方の豊かな町人を担い手とする元禄文化が栄え、井原西鶴や松尾芭蕉らが活躍した。

